



シルバーカー

アルミカーハーモニーAL

〔取扱説明書〕〔保管用〕

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
⚠️ この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。（手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人には適しません。）
使用に適しているかどうか不明な場合、必要に応じて専門家（福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等）に相談し購入されることをお勧めします。
なお、ご使用になる前に、この説明書の内容をよくお読みいただき、充分ご理解された上、ご使用ください。

目次

警告事項・・・・・・・・・・	1	ハンドブレーキの操作方法・・・・・・・・	5
注意事項・・・・・・・・・・	1~2	ブレーキの調整方法・・・・・・・・・・	5
各部の名称・・・・・・・・・・	3	腰掛け方・・・・・・・・・・	6
車体のひろげ方・・・・・・・・	4	傘止めバンドの使い方・・・・・・・・	6
車体の折りたたみ方・・・・・・・・	4	故障かなと思ったら・・・・・・・・	6
ハンドルの高さ調節・・・・・・・・	4	保証書・・・・・・・・・・	7
駐車用ストッパの操作方法・・・・	5	SGマーク・・・・・・・・・・	7
キャスターの操作方法・・・・・・・・	5		

この取扱説明書に関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、弊社サービス係、またはご購入販売店までお問い合わせください。

株式会社 島製作所

サービス係

☎06-6793-0991

**ご使用にあたっては、体調の状態により危険なこともありますので、
ご自身の体調の状態で使用できるかご判断ください。**

加齢等によって歩行機能が低下してこの製品が合わなくなり危険となる場合があります。
室内や屋外での移動が短距離でも困難になった場合には、この製品は使用しないでください。
また定期的に専門家等にこの製品が適切かどうか相談し確認してください。

転倒や故障の防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

⚠ 警告事項 転倒など重大な事故につながる恐れがあります。

- 自動車、バス、電車内、エスカレーターや階段では使用しないでください。
- 雨、雪、凍結等滑りやすいところでは使用しないでください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ、および夜間に使用される際は十分注意してください。
- 段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがありますので十分注意してください。また段差を斜めに進入することは止めてください。段差の手前では必ず一旦止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。
- 踏切を横断する場合、段差に十分注意してください。特に、警報機が鳴ったときに慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、同伴者付き添いのもと横断されることをお勧めします。
- 車体の組み立ておよび調整は確実に行ってください。
- 使用される前に必ず左右の固定用ロックが確実にかかっているか確認をしてください。
固定用ロックがかかっていないと車体が折りたたまれる恐れがあり大変危険です。
- 片手で押して使用しないでください。(傘を持ちながら等)
- ハンドルの高さ調節部(左右)が固定されているか確認してください。
- ハンドルに寄りかかったり、荷物を吊るすなど、過度の荷重をかけると、車体のみ前に動き、転倒する恐れがあります。
- 踏み台としては使用しないでください。
- 坂道などの斜面では座らないでください。
- 座面を使用する場合は、必ず駐車用ストッパペダルを使い、左右両輪に駐車用ストッパをかけ、車体が動かないことを確認してください。
- 座面以外のところには座らないでください。
- 座面に浅く座らないでください。
- 座面から立ち上がる時は、車体が動かないことを確認してから、ゆっくりと行ってください。
- 乳幼児や子供に操作をさせないでください。また、座面上に立たせないでください。
- 乳幼児や子供の手の届くところに放置しないでください。
- 弊社のサービス員以外の分解・改造はしないでください。

⚠ 注意事項 思わぬケガをする恐れがあります。

※ご使用前に

- 製品各部を点検し、特にハンドブレーキや駐車用ストッパの左右両輪の性能、タイヤおよびブレーキ金具の摩耗、押したときのグラつきについては十分確認して使用してください。

※ご使用中には

- 用途以外には使用しないでください。
- 火気の近くでは使用しないでください。
- 砂、泥のあるところ、特に水たまりでは使用しないでください。
- 最大使用者体重は 80kg です。ご使用される方の体重が 80kg 以下の方に限ります。必ずお守りください。
- カゴの載荷重は 20kg です。20kg を超える荷物は載せないでください。
- カゴと小袋以外のところに荷物を載せないでください。
- ハンドルなどに荷物を吊るしたりしないでください。
- 座面に人を乗せたままで押さないでください。
- 乳幼児、子供、動物をカゴ、小袋に乗せないでください。
- 車体の組み立て、折りたたみなどの操作時には乳幼児や子供を近づけないでください。
- カゴに荷物を入れたまま、車体の組み立て・折りたたみ操作をしないでください。
- ハンドルとハンドブレーキレバーの間に指を入れたままブレーキ操作をしないでください。
- ハンドブレーキは自動車のブレーキとは構造が違いますので過信しないでください。
- 駐車用ストoppaがかかった状態で車体を押さないでください。
- 車体を折りたたむときは、手をはさまないように注意してください。
- 車体からはなれるときは、必ず駐車用ストoppaをかけてください。

※保管方法とお手入れについて

- 使用後は乾いた布で水分を取り、日陰で乾かしてください。
- 小袋の汚れは、柔かい布で拭いてください。
- 火の近く、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因になります。
- 車体が濡れたときは、乾いた布で拭きとってください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤で車体・小袋を拭かないでください。
- フレームや車輪は砂や泥などの汚れを付けたまま放置せず、必ず落としてください。
- 長期間使用しない場合は、汚れを落として高温多湿の場所は避け、屋内の場所で保管してください。
- 寒暖の差が激しいところでの保管は、小袋の変色や硬化、車体の劣化、動作不良などの原因となる場合があります。
- 車輪や車体がきしむときは、連結部等に数滴注油してください。注油後、回転および車体の組み立て・折りたたみ操作を 2～3 回くりかえしてください。
- 非常口、消火器、消火栓の前に放置をしないでください。
- 定期的に各部（タイヤおよびブレーキなど）の破損、ゆるみ、摩耗などがいないかを保守・点検し、必要に応じて調整または交換をしてください。
- 定期的に各部のカシメ鉋、ネジなどがゆるんでいないかを確認してください。
- 取扱説明書は本体とともに保管してください。

※廃棄について

- 各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。

各部の名称

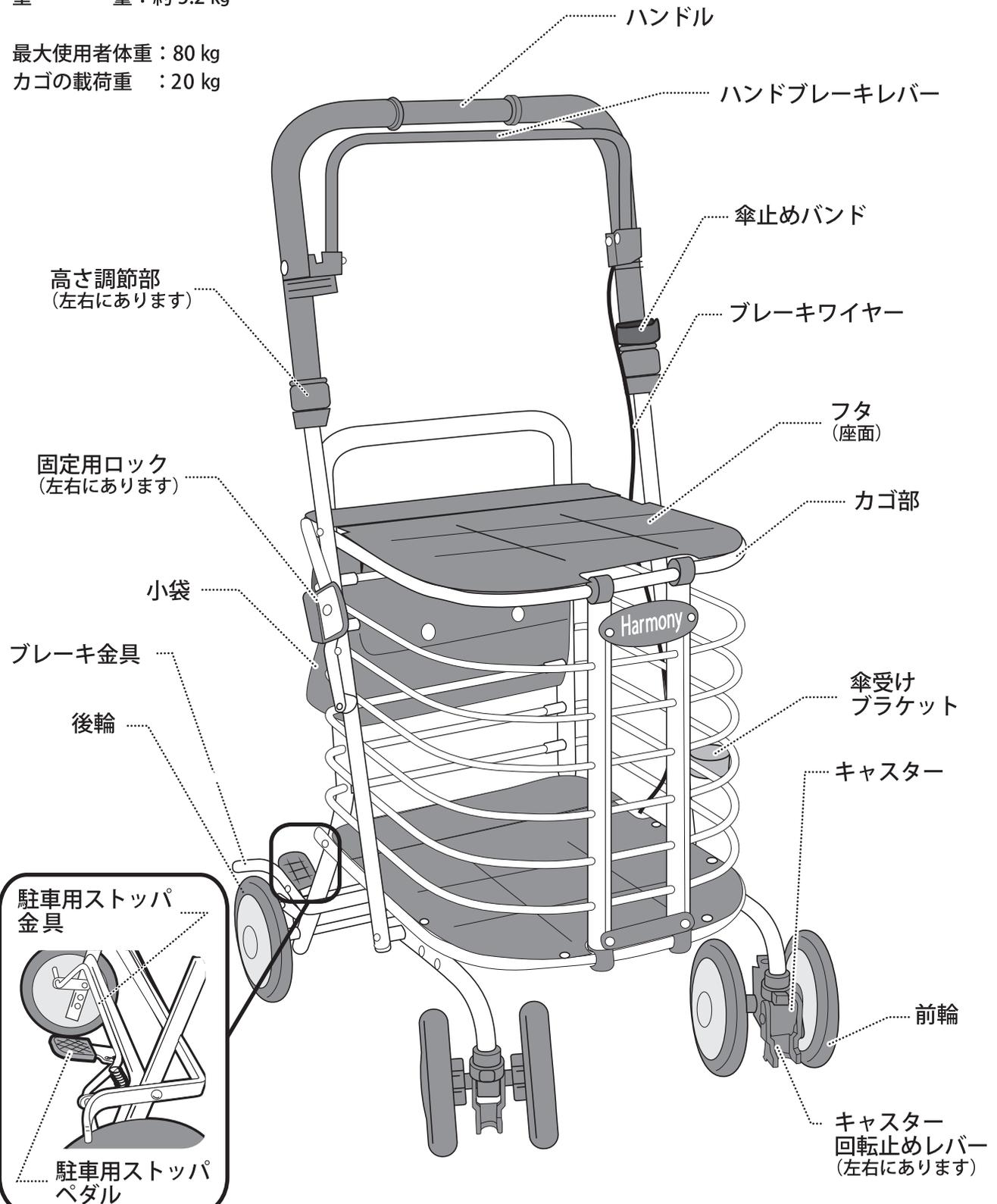
ハーモニー AL

使用時サイズ：約 H83 ~ 91×W46×①D54・②53 cm
(①はキャスター回転止めレバーを上げた状態
②はキャスター回転止めレバーを下げた状態)

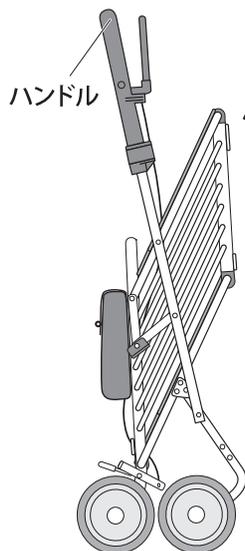
収納時サイズ：約 H91×W46×①D31・②30 cm
(①はキャスター回転止めレバーを上げた状態
②はキャスター回転止めレバーを下げた状態)

座面高さ：約 49 cm
重量：約 5.2 kg

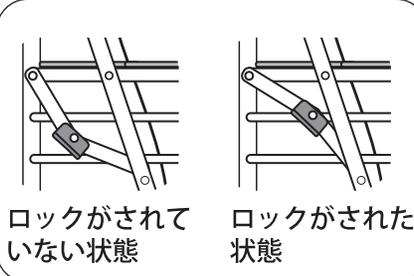
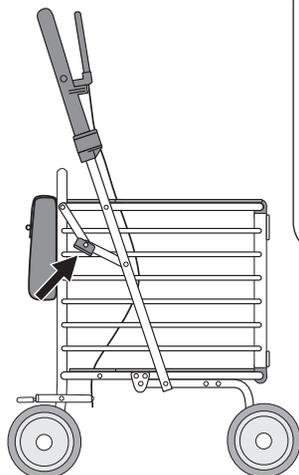
最大使用者体重：80 kg
カゴの載荷重：20 kg



車体のひろげ方



ハンドルと前部(カゴ部)を持ち、図を参照して矢印の方向に広げてください。ブレーキワイヤーなどが引っかかり広がらない場合がありますので注意してください。固定用ロックを押し上げ固定します。



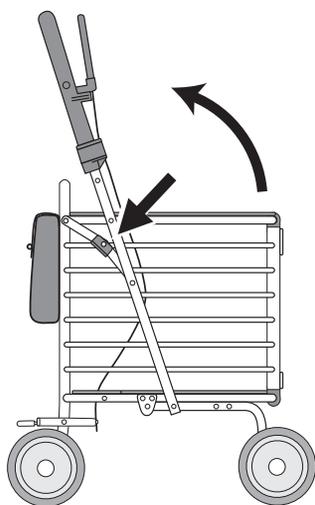
ロックがされていない状態

ロックがされた状態

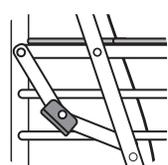
注

- ご使用になる場合は必ず左右の固定用ロックをかけてから使用してください。

車体の折りたたみ方



図①



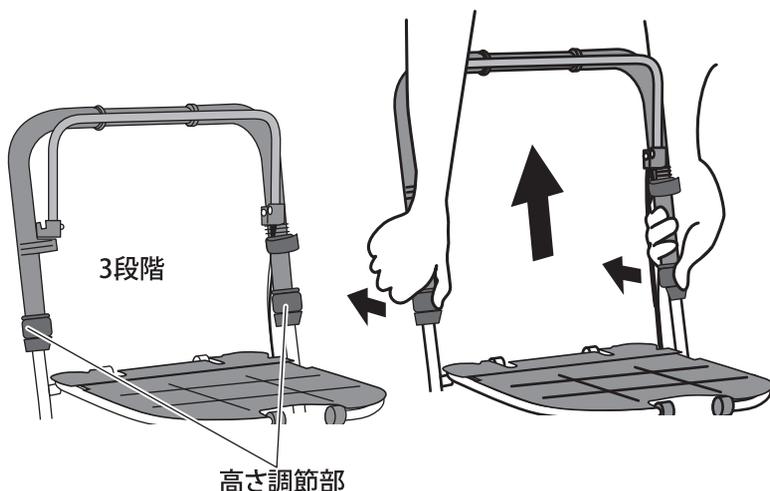
固定用ロックが押し下がった状態

固定用ロックを図①を参照に、押し下がった状態にし、ハンドルと前部(カゴ部)の2カ所を持って、内側にはさみ込むように折りたたみます。

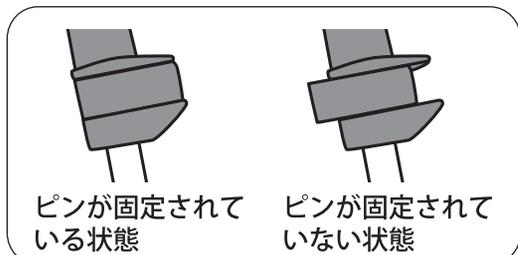
注

- 物を入れたまま折りたたまないでください。
- 折りたたむときは指をはさむ危険がありますので、注意してください。

ハンドルの高さ調節



1. 左右の高さ調節部を親指で押さえると、ハンドルが上下に動かせます。
2. 高さ調節部分を親指で押さえながら、3段階の高さ調節からお好みの高さに合わせて、親指を離します。
3. ピンが両方の穴にしっかりと入っており、固定されているか確認してください。



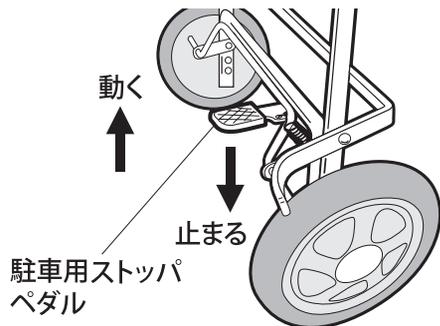
ピンが固定されている状態

ピンが固定されていない状態

注

- 左右同じ高さであることを確認して固定してください。

駐車用ストッパの操作方法



1. 駐車用ストッパを下に下げると、後輪がロックされます。
2. 駐車用ストッパペダルを上にあげるとロックが解除されます。

注

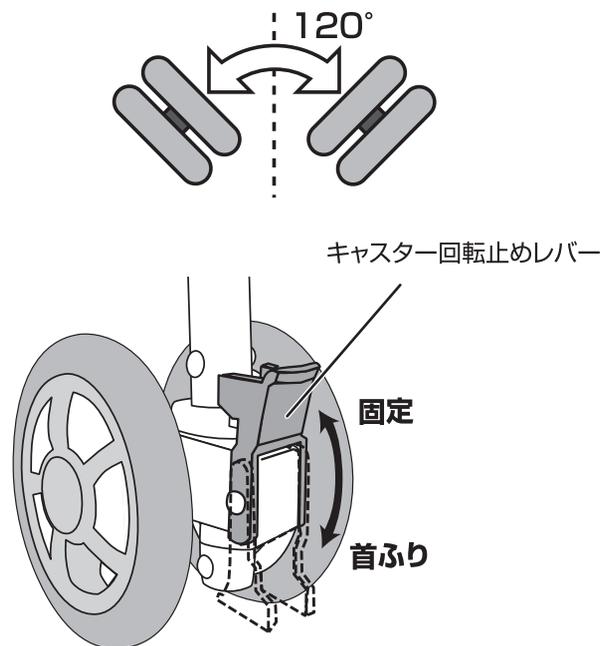
- 駐車用ストッパのかかった状態（後輪がロックされた状態）で車体を押さないでください。
- 車体からはなれる場合は、必ずストッパをかけてください。
- 構造上、自動車のブレーキのような停止効果はありませんので坂道などでは腰をかけないでください。
- ペダルを踏まれるときは身体のバランスを崩さないように十分注意してください。

キャストターの操作方法

キャストター回転止めレバーを下げると、曲る方向に力を入れれば左右各 60° の角度で止まり、力を抜けば直進方向に戻ります。

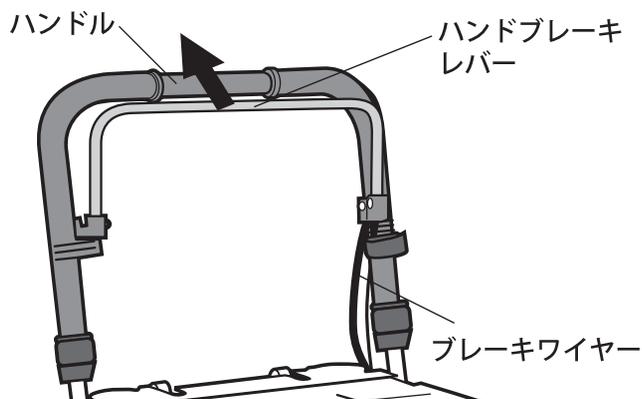
キャストター回転止めレバーを上げるとロックされます。

- 注 ●キャストター回転止めレバーが左右同じ状態かを確認してください。



ハンドブレーキの操作方法

ハンドブレーキレバーを握れば、後輪にブレーキがかかります。

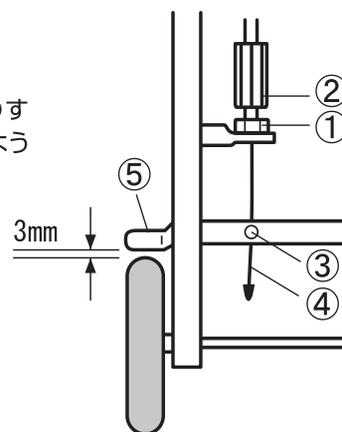


注

- ハンドルとハンドブレーキレバーの間に指を入れたまま操作しないでください。
- ブレーキは構造上、自動車のブレーキのようには効かないので過信しないでください。
- ブレーキワイヤーが折れ曲がったりした場合、ブレーキがききにくくなりますのでブレーキワイヤーの交換をしてください。

ブレーキの調整方法

ブレーキ金具と車輪のすき間が3mm位になるように調整します。



■ブレーキをきつにする

②を回して調整し、①を上図の位置に戻してください。

なお不十分なときは、②を最初の状態に戻し、③をゆるめてから⑤を車輪に近づけた状態でワイヤー④を引っ張って、③を締めてください。

■ブレーキをゆるくする

①をゆるめてください。

②を回して調整してください。

調整が終われば①を締めてください。

腰掛け方

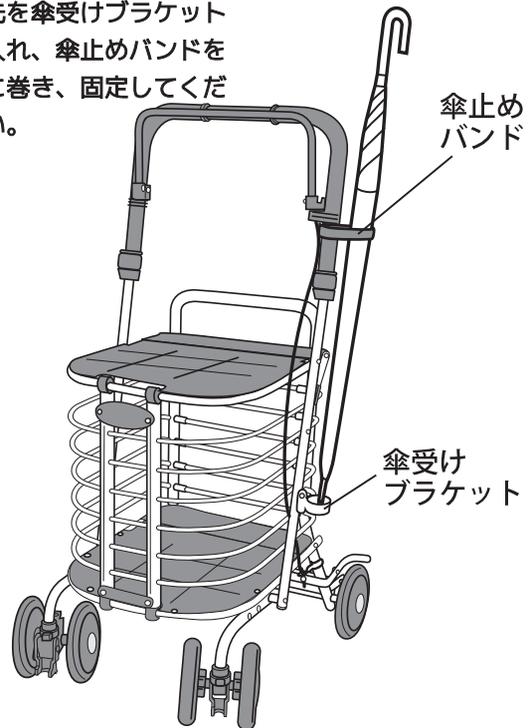


注

- 両側の固定用ロックが正常にかかっているか確認してお座りください。
- 必ず駐車用ストッパをかけてからお座りください。
- 腰掛けるときは、均等に体重が加わるように座面の中央にお座りください。
- 浅く座ったり、後方に力をかけすぎた場合、車体が動いてバランスがくずれの恐れがあります。ご注意ください。
- 坂道など斜面では座らないでください。
- 最大使用者体重は 80 kg です。
体重が 80 kg を超える方はご使用になれません。

傘止めバンドの使い方

傘止めバンドを外して
傘先を傘受けブラケット
に入れ、傘止めバンドを
傘に巻き、固定してくだ
さい。



故障かなと思ったら・・・

状 況	原 因	対 処 方 法
ハンドルがグラグラと動く	①固定用ロックが確実に かかっていない ②ハンドルの高さ調節部 がきちんと固定されて いない	①両側の固定用ロックが確実に かかっているか確認してくだ さい ②ピンが穴にきちんとセットさ れているか、確認してくだ さい
駐車用ストッパが効かない	①駐車用ストッパ金具の曲がり ②バネの劣化 ③車輪の破損 ④連結部のサビ	①駐車用ストッパ金具の交換（弊社サービス係へ） ②バネの交換（弊社サービス係へ） ③車輪の交換（弊社サービス係へ） ④注油する
ハンドブレーキが効かない	①タイヤの摩耗 ②ブレーキワイヤーの折れ曲がり	①車輪の交換（弊社サービス係へ） ②ブレーキワイヤーの交換（弊社サービス係へ）
キャスターが回転しない	①キャスターの回転軸に、 土や砂が混入 ②バネの劣化	①キャスターを手で回転させて、土や砂を 落としてから、回転軸のすきまに油を差 してください ②バネの交換（弊社サービス係へ）
固定用ロックがかからない	①固定用ロック部の変形 ②車体の歪み	弊社サービス係にて製品の修理または 部品の交換を行います
その他、車輪の交換や 車体の破損など		弊社サービス係にて製品の点検、修理または 部品の交換を行います

万一、破損・異常が発生した場合、または発見した場合は、
そのまま使用せずに、弊社の点検・修理を受けてください。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

MADE IN VIETNAM 28.06 AL



株式会社 島製作所

〒547-0001 大阪市平野区加美北3丁目12-5
TEL 06-6793-0991 FAX 06-6793-0992



外袋



説明書